

科目コード	N416
授業科目名	産業看護学実習
授業科目名(英文)	Field Practice in Occupational Health Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	4年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	45
該当ディプロマ	◎看DP-4
該当コンピテンス	◎看CP-6、○看CP-7、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	教務部長
授業の概要	事業場の安全衛生部門や労働衛生機関において、現地講義や職場巡視等による見学実習を行う。 働く人々が健康で充実した職業生活を送るための産業保健活動の実際、およびその目的と意義について学び、労働衛生チームの一員として看護職の果たすべき役割を理解し、説明することができるようになる。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 事業場の概要や労働特性、健康に関連する保健統計から、職場の健康課題が抽出された過程を理解する 2. 事業場で進められている産業保健活動の概要を理解する 3. 労働衛生機関で進められている産業保健活動の概要を理解する。 4. 産業看護職の専門性・多職種との連携について理解する。 なお、実習目標の詳細(下位目標)は産業看護学実習の手引きを参照のこと。
予習復習の所要時間	実習時間45時間
成績評価方法	臨地実習指導者や指導担当教員の意見を参考に、実習への取り組み姿勢(事前学習、実習中の参加姿勢や態度、事後学習)(40%)、実習記録およびレポート(40%)、全体討議への参加状況(20%)で60点以上を合格とする。
教科書	河野啓子著 「産業看護学」(日本看護協会出版会)購入済の版で可 「労働衛生のしおり」最新版(中央労働災害防止協会編)
参考書	適宜提示する
その他	保健師国家試験受験に必要な科目 *詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

N416

産業看護学実習

令和6年度

授業計画(臨地実習・卒業研究)

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	1日目	オリエンテーション、事前学習の確認、移動	①産業看護学実習の手引きを用いてオリエンテーションを行う ②各担当教員が事前学習状況の確認および助言を行う ③実習先への移動	中谷 淳子 栗山 知子 他
2	2～4日目	1日につき1施設、計3施設の見学実習	①現地講義 ②職場見学(職場巡視の視点を持ち、臨地実習指導者からの説明を受ける) ③カンファレンス	中谷 淳子 栗山 知子 他
3	5日目	全体討議	①グループ毎に、各実習施設での学びをまとめ、発表する ②学生間で質疑応答およびディスカッションを行う ③教員からのフィードバック	中谷 淳子 栗山 知子 他